

調理や保存のポイント

①食材を適切に保存する

- ▶食品に記載された保存方法を守ろう
- ▶野菜は下処理をしてストックしよう

②食材を使い切る

- ▶残っている食材から使おう
- ▶残った料理はリメイクなどで工夫しよう

③食べきれぬ量を作る

- ▶体調や健康、家族の予定も配慮して作る量を調整しよう

買い物のポイント

①買い物前に、冷蔵庫や食品庫にある食材をチェック

- ▶メモ書きや携帯・スマホで撮影して参考にしよう

②使う分、食べられる量だけ買う

- ▶まとめ買いを避けて、必要な分を買って食べきろう

③期限表示を知って賢く買う

- ▶利用予定と照らして、期限表示を確認しよう
すぐに使う予定の食材は「手前どり」しよう

作りすぎない

買いすぎない



10月食品ロス削減月間
10月30日は食品ロス削減の日

cookpad

消費者庁のキッチン
では、食品ロス削減の
参考になるレシピなど
が紹介されています。

食べられるのに
捨てられてしまう
食品を減らしましょう。



期限表示「賞味期限/消費期限」について正しく知ろう

賞味期限

- ▶おいしく食べることができる期限。表示されている保存方法にしたがって保存していれば、期限を過ぎたからといってすぐに食べられなくなるわけではありません。
煮たり焼いたり、十分加熱するなど調理方法を工夫して使い切ろう。

消費期限

- ▶過ぎたら食べない方がよい期限。消費できる量を購入し、期限内に食べきろう。

外食時のポイント

①料理の量を選べるお店や、食品ロス削減に配慮したお店を選ぼう

②食べられる分だけ注文しよう

- ▶食べ放題の終了間際、大量に注文して食べきれないなんてこと、ありませんか？

③料理をおいしく、残さず食べきろう

- ▶複数人で食事する場合は、みんなでシェアして食べきろう

持ち帰りができるお店も増えています。衛生面に気を付けて、可能なら利用しましょう。

達人ワザ、紹介します

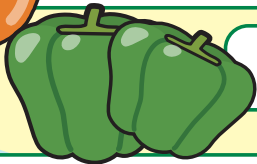
令和4年度「ごみゼロ達人をさがせ!」より、達人の取組を紹介します。

《S.B.さま》食材はすべて食べきり!

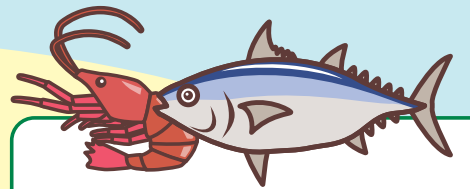
食材を使い切る習慣がつけば、可燃ごみの7L袋もスカスカに! もっと小さい袋があってもいいか、と思うくらいです。



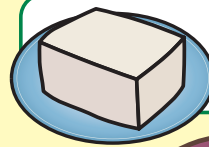
余りそうな柿は薄くスライスしてクッキングシートに並べ、冷蔵庫に置いておくドライフルーツに!
柿の皮は電子レンジでチンして柿チップスにできますよ。



ピーマンはまるごとレンジでチンすれば、種まで食べられるおひたしに!



魚の骨、エビの皮もトースターで焼いたり、揚げたりすると美味しいスナックに!



安く買って余った豆腐は、カットして冷凍すれば高野豆腐風に!



じゃがいも、さつまいも、りんご、かぼちゃ、大根、にんじんなども皮ごと調理で栄養まるごと!

ごみ減標語を大募集!

令和5年度は、ごみ減量のヒントになる標語を募集します!
みんなが実践したくなる標語(5・7・5)をどんどんお寄せください!

- ◎ごみを作らない工夫
- ◎ごみを減らす工夫
- ◎ものを繰り返し使用できる工夫…などなど

(募集期間)令和5年10月1日(日)~11月10日(金)まで

- 詳しくは市HP、募集要項をご確認ください。
- 応募方法はごみ分別アプリ内応募フォーム、応募用紙の持参・郵送・FAX・メール送信いずれでもOKです。
- 応募の方には参加賞をプレゼントします。

令和4年度の可燃ごみ袋有料化の収支はこのようになりました。

項目		決算額
収入	家庭系可燃ごみ袋販売収入	103,230千円
支出	必要経費	
	指定ごみ袋作成費	24,602千円
	取扱店への販売手数料	5,252千円
	指定ごみ袋保管・配送委託料	3,824千円
	可燃ごみ組成調査委託料	2,431千円
	その他(ボランティア袋等作成費)	613千円
	活用事業費	
	市民提案型ごみ減量活動等補助金	1,099千円
	不法投棄対策	1,701千円
	情報発信事業	1,032千円
環境保全指導員	2,274千円	
古紙集団回収事業の拡充	9,869千円	
生ごみ処理容器普及事業	850千円	
ごみ分別アプリ配信事業	1,360千円	
ごみ収集拠点設置等補助金	642千円	
その他	232千円	
支出計	55,779千円	
収支		47,451千円

可燃ごみの組成調査にご協力をお願いします。

可燃ごみのさらなる減量化と再資源化を推進するため、10月~11月に組成調査をおこないます。

この調査では、可燃ごみにどのようなものが含まれているのか、資源化できるものは混じっていないのかなどを調べ、今後の施策の基礎数値とします。

一部の地域において、通常のごみ収集車とは異なる車両で収集することがあります。ご理解とご協力をお願いします。

令和5年4月~令和5年7月までの一日1人あたりの可燃ごみ排出量は、平均すると**403.1g**
令和7年度の目標数値**(326g)**まであと**77.1g**です!

- ◎端数処理により、内訳と合計が一致しない場合があります。
- ◎有料化による収益は、循環型社会推進基金へ積み立てし、ごみ減量等のための環境施策に活用しています。

[令和5年10月発行]

〈問い合わせ先〉〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9 木津川市役所 市民部 まち美化推進課
TEL:0774-75-1215(ダイヤルイン) FAX:0774-72-3900 Mail:machibika@city.kizugawa.lg.jp

※この「MOTTAINAI便り」は、循環型社会推進事業の一環として、ごみの「減量」「再資源化」につながる身近な情報などを隔月で市民の皆さんにお知らせする情報紙です。不要になりましたら、「雑がみ」として古紙回収にお出しいただき、リサイクルにご協力くださいますようお願いいたします。